

CONCERTDOORS. CO.

株式会社コンサート・ドアーズ

上原彩子 チャイコフスキー国際コンクールの覇者

母なるロシア 悠久の響きと  
豪華ソリストによる共演

大谷康子 デビュー40年、円熟の歌うヴァイオリン



©三浦興一

©尾形正茂

# モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団

指揮: ユーリ・シモノフ ピアノ: 上原 彩子 ヴァイオリン: 大谷 康子

*Moscow Philharmonic Orchestra Conducted by Yuri Simonov*

## Program

ショスタコービッチ  
ピアノ協奏曲第1番

プロコフィエフ  
ヴァイオリン協奏曲第1番

チャイコフスキー  
交響曲第6番「悲愴」

2017年 7/3(月) 19:00開演

# 東京芸術劇場コンサートホール

S席 ¥12,000 | A席 ¥10,000 | B席 ¥8,000 | C席 ¥6,000

●コンサート・ドアーズ 03-3544-4577 (10:00~18:00)

●サンライズプロモーション東京 0570-00-3337 (10:00~18:00 全日)

●チケットぴあ(Pコード: 321-161) 0570-02-9999 <http://pia.jp/t> (パソコン・携帯) ●e+(イープラス) <http://eplus.jp/> (パソコン・携帯)

●ローソンチケット(Lコード: 34058) 0570-000-407 (オペレーター対応) <http://l-tike.com/>

※やむを得ない事情により、出演者、演奏楽曲が変更になる場合がございます。 ※未就学児の入場はご遠慮ください。

主催: (株)コンサート・ドアーズ

一般発売日 2017年1月27日(金)

# 大谷 康子

Yasuko Ohtani (Violin)

2015年にデビュー 40周年。1708年製ピエトロ・グアルネリを使用。華のあるステージ、深く温かい演奏で聴衆に感動と喜びを届けている。東京芸術大学、同大学院博士課程修了。国内外のオーケストラとも共演を重ね、2015年のキエフ国立フィルとの日本ツアーも成功、2017年「キエフの春音楽祭」に招待されている。2015年、ジャズ界の巨匠、ピアニスト山下洋輔氏との共演で新境地を開き、「KAWASAKI JAZZ2016」のグランドフィナーレでの共演は大成功を収めた。

CD「R. シュトラウスソナタ／ベートーヴェンソナタNo.5」(ピアノ:イタマール・ゴラン / SONY)、新譜は「大谷康子のお菓子な名曲サロン」(KING)他、多数。文化庁「芸術祭大賞」受賞。東京音楽大学教授。東京芸術大学講師。(公財)練馬区文化振興協会理事長、川崎市市民文化大使。高知県観光特使。(公財)日本交響楽振興財団理事。「おんがく交差点」(BSジャパン 毎週水曜日 23時30分～)では、春風亭小朝と司会及び演奏を務める。



# 上原 彩子

Ayako Uehara (Piano)

第12回チャイコフスキー国際コンクールピアノ部門において、女性としてまた、日本人として史上初めての第一位を獲得。第18回新日鉄音楽賞フレッシュアーティスト賞受賞。これまでに国内外での演奏活動を行ない、ヤノフスキ、ノセダ、ルイジ、ラザレフ、ブラビンス、ペトレンコ、小澤征爾、小林研一郎、飯森範親各氏等の指揮のもと、国

内外のオーケストラのソリストとしての共演も多い。2004年12月にはデュトワ指揮NHK交響楽団と共演し、2004年度ベスト・ソリストに選ばれた。CDはEMIクラシックスから3枚がワールドワイドで発売されている他、2014年にはキングレコードに移籍し、第1弾として「上原彩子のくるみ割り人形」「ラフマニノフ13の前奏曲」がリリースされた。



# ユーリ・シモノフ

Yuri Simonov

ブラス・セクションを大きく鳴らし、打楽器を炸裂させるシモノフの重量感のある音楽のファンは日本でも数多い。演奏曲目は幅広く、チャイコフスキーやラフマニノフ等のロシア系はもとより、モーツァルトやベートーヴェンに始まり、マーラーからイタリア・オペラに至るまで、多彩なレパートリーを獲得している。1941年ロシア・サラトフ州生まれ。レニングラード音楽院で学び、1966年全ソ連指揮者コンクールにて優勝。1968年ローマ・サンタチェチーリア指揮者コンクールで優勝。その後レニングラードフィルハーモニー管弦楽団にてムラヴィンスキーの助手をつとめる。1969年ポリショイ歌劇場に招かれ「アイダ」でデビュー。1985年まで首席指揮者を努め、当歌劇場では最長の任期であった。1998年モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団の首席指揮者に就任。モスクワ・フィルを伴っての日本への来日は多く、NHK交響楽団にも客演している。ロシア功労芸術家(1971)、ロシア人民芸術家(1976)、ソ連人民芸術家(1981)。



# モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団

Moscow Philharmonic Orchestra

第2次世界大戦の後、当時のソビエト連邦政府はレニングラード・フィルのライバルとなるオーケストラを首都モスクワに設置することを目的に優秀なプレイヤーを集め、1951年モスクワ・フィルハーモニー管弦楽団を発足させました。音楽監督にはロシアで有名な指揮者キリル・コンドラシンが任命され、コンドラシンと親交のあった作曲家ショスタコービッチの後期交響曲の数々を初演しました。それによって楽団は世界的に話題的となり、ストラヴィンスキー、ペンデレツキを初めとして、当時の西洋音楽界はこの新しい楽団に多大な関心を寄せました。客演は現在に至るまで、ザンデルリンク、コンヴィチュニー、マゼール、メータ、ソリストにはルービンシュタイン、スターン、メニューイン、グールド、ポリーニ、ミケランジェリ、リヒテル、ギレリス、ロストロポーヴィッチといった錚々たる面々が名を連ねています。現在はユーリ・シモノフが首席指揮者に就任、国内はもとより、世界でも積極的にコンサートを開催しています。

